

**◎輸入牧草高騰、出口見えず**

ご存知の通り、粗飼料の輸入乾牧草の価格が高騰しています。

2021年11月の輸入価格は前年同月比で2割高。新型コロナウイルス下での海上輸送の混乱、中国や輸出国内での旺盛な需要、円安などが要因です。日本への輸送自体も遅れ、確保が難しくなっており当面需給の逼迫基調が続く、畜産経営への影響は長期化する恐れがあります。

こうした事態の要因は、コロナ禍からの経済正常化に伴う船のコンテナ不足など、海上輸送の混乱です。海上運賃は高騰し、港の混雑で輸送の遅れも常態化。北米では冬場の悪天候、オーストラリアからは直行便の運休で中国、韓国を経由するといった事情もあるようです。

21年の米国から中国へのアルファルファの輸出量は10月までに、年間での過去最高を更新。米国やカナダでは干ばつで生産が減り、穀物飼料高騰もあって、国内での引き合いが強まり、輸出業者によっては、日本向けに出荷制限をかける動きもあったそうです。また、直近の円安の影響もあり、21年1月は1ドル=103円台だったのが最近では126円台まで下落していて、日本が輸入する価格はその分割高です。この状況がいつ高騰前の輸入状況になるのか、もう、戻らないのか、全く見通しが立たない状況です。

ここで今一度自給飼料の重要性が見直されています。圃場を確保できる人は、今からでも考えてはいかがでしょうか。

**◎第74回通常総会について**

日時：令和4年5月27日（金）午前11時より

場所：南信酪農業協同組合3階会議室

\*出席される方はマスクの着用等、新型コロナウイルス感染防止への配慮をお願い致します。

**◎第1回理事会報告 令和4年3月31日（木）午前10時南信酪農3F会議室**

1. 目的積立金（販売事業積立金）の取崩しについて
2. 目的積立金（事業基盤強化対策積立金）の取崩しについて
3. 令和3年度決算について
4. 令和4年度事業計画・予算について
5. 貸付金利率の最高限度の決定について
6. 借入金の最高限度の決定について
7. 同一人に対する信用の供与等の最高限度額の決定について

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 8. 余裕金の預入先金融機関の決定について | 12. 資産自己査定の結果について  |
| 9. 定款の一部変更について        | 13. 組合員動向調査の結果について |
| 10. 第74回通常総会提出議案について  | 14. 配合飼料等の価格改訂について |
| 11. 議決権行使書面の扱いについて    | 15. その他            |

### ◎5月の屠場平日休業日のお知らせ

松本屠場 5月2日(月)・5月20日(金)です。

### ◎大型連休における病畜及び死亡牛取扱いについて

#### 1 病畜の取扱いについて

4月29日(金)・5月3日(火)・は病畜のト畜を行います。

尚、連絡は出荷の前日までにして下さい。当日ですと対応出来ない事があります。

#### 2 死亡牛の取扱いについて

①中信事業所管内の方は、齊藤まで連絡をして下さい。

②南信事業所管内の方は、秦まで連絡をして下さい。

#### 3 担当連絡先

齊藤 ☆☆☆

秦 ☆☆☆

### ◎飼料安定基金積立金(第1四半期)の徴収について

飼料安定基金積立金(第1四半期)を、令和4年4月20日に各経済預り金より引き去りました。 第1四半期契約数量×600円

### ◎主な行事予定

- |      |                        |                 |
|------|------------------------|-----------------|
| 4/11 | 下伊那支部総会、下伊那支部事業説明会     |                 |
| 4/12 | 上伊那支部総会、上伊那・諏訪支部事業説明会、 |                 |
| 4/12 | 南酪肉牛部会総会(書面)           |                 |
| 4/14 | 東海酪連臨時総会(書面)           |                 |
| 4/14 | 木曾支部解散総会、              |                 |
| 4/15 | 中信支部総会(書面)             |                 |
| 4/19 | 酪政連中央委員会               |                 |
| 4/20 | 全酪長野協議会(3役会議)          |                 |
| 4/21 | 県生乳生産販売委員会改良部会(書面)     |                 |
| 4/22 | 信州牛乳輸送(有)取締役会、監査会      | 4/22 南酪ミルクキー会総会 |
| 4/26 | 役員推薦委員会、定例会            |                 |
| 4/27 | 理事会、南酪畜産クラスター協議会総会     |                 |
| 5/10 | 長野畜振(株)取締役会、同監査会       |                 |
| 5/13 | 定例会                    |                 |
| 5/16 | 理事会 ヘルパー運営委員会 子会社総会    |                 |
| 5/27 | 通常総会                   |                 |

	科目	課税	令和3年度	令和4年度	摘要
東海 控除	生乳受託販売手数料	○	0.25	0.25	生乳1kgあたり
	全国連再委託手数料	○	0.06	0.06	実費に対し生乳1kgあたり (単価は令和3年度実績見込)
	集送乳経費	○	県対応	県対応	生乳1kgあたり(年度末確定精算)
	三河CS取得に係る借入金 乳量割負担	○	0.06	0.06	生乳1kgあたり(令和4年度末確定精算)
	飲用加工転送運賃	○	0.30	0.30	実費に対し生乳1kgあたり (単価は令和3年度実績見込)
	生乳検査料	○	0.24	0.24	生乳1kgあたり(年度末確定精算)
		○	3,000	3,000	1戸当月額
	災害等損害補てん抛出金	×	0.045	—	生乳1kgあたり(公共施設除く、令和4年度末確定精算)
	販売対策費	○	0.10	0.10	生乳1kgあたり(年度末確定精算)
	生乳増産緊急対策事業	×	0.10	—	生乳1kgあたり (公共施設除く、対象生産者へ交付後、年度末精算)
	生産基盤緊急支援事業	×	0.10	—	生乳1kgあたり(公共施設除く、会員へ交付)
	BSE対策及び残留農薬 対応酪農互助基金抛出金	×	0.01	0.01	前年度生乳1kgあたり(公共施設除く) 中酪精算時に併せて精算
		×	0.20	0.20	脱粉・バター等、液状乳製品、チーズ用途1kgあたり (公共施設除く)
	Jミルク牛乳口	○	0.05	0.05	飲用、学乳、発酵用途1kgあたり (公共施設除く、Jミルク精算時に併せ精算)
	Jミルク乳製品口	○	0.02	0.02	脱粉・バター等、生クリーム等、チーズ用途1kgあたり (公共施設除く、Jミルク精算時に併せ精算)
中酪 酪農・国産牛乳乳製品 理解促進広報事業賦課金	○	0.10	0.10	飲用、学乳、発酵用途1kgあたり(公共施設除く)	
		0.04	0.04	生乳1kgあたり(公共施設除く)	
中酪 需給調整機能強化全国 支援事業賦課金	○	0.01	0.01	生乳1kgあたり(公共施設除く)	
中酪 酪農乳業乳製品在庫 調整対策事業(仮称)		—	0.49	生乳1kgあたり(公共施設除く)	

	科目	課税	令和3年度	令和4年度	摘要
県統一 控除	流通諸経費	○	5.30	5.30	生乳1kgあたり(年度末確定精算)
	生乳需要拡大(県段階)	○	0.09	0.09	生乳1kgあたり(年度末確定精算)
	販売委員会負担金	×	0.02	0.02	生乳1kgあたり (地域協議会活動費0.01、青年部活動費0.01) (地域協議会活動費は公共施設等除く)
	全農県本部費	○	0.74	0.74	生乳1kgあたり
	補助事業等負担金 (賠償補償) (中酪負担金)	×	0.03	0.03	生乳1kgあたり(年度末確定精算) (需給調整、中酪負担金は公共施設除く)
		×	0.02	0.02	
乳質改善生乳安全安心	○	0.08	0.08	生乳1kgあたり(年度末確定精算)	

令和4年度期別乳価乳代精算一覧表

全農長野県本部

精算月	令和4年度			令和3年度	
	精算対象	期別乳価	備考	精算対象	期別乳価
5月	4月出荷分	△2.5円		4月出荷分	△2.5円
6月	5月出荷分	△2.5円		5月出荷分	△2.5円
7月	6月出荷分	+1.0円		6月出荷分	+1.0円
8月	7月出荷分	+3.5円		7月出荷分	+3.5円
9月					
10月					
11月					
12月	9月出荷分	+3.5円	追加精算	9月出荷分	+3.5円
1月	12月出荷分	△2.5円		12月出荷分	△2.5円
2月	1月出荷分	△2.5円		1月出荷分	△2.5円
3月	2月出荷分	△2.5円		2月出荷分	△2.5円
	10月出荷分	+3.5円	追加精算	10月出荷分	+3.5円
4月	3月出荷分	△2.5円		3月出荷分	△2.5円
	11月出荷分	+1.0円	追加精算	11月出荷分	+1.0円
	8月出荷分	調整単価	年度末残金を8月出荷乳量に応じて追加精算	8月出荷分	調整単価

\* 変更なし

◎ 3月分支払乳代

項 目	単 価	摘 要	前年単価
① 共同計算単価	110.97円		112.06円
② 全農手数料	0.74円	全農長野取扱手数料	0.74円
③ 全農控除分	5.54円	(令和3年度乳代精算控除経費一覧表参照)	5.54円
④ 指導補導費控除分	1.30円	組合独自の控除	1.30円
⑤ 組織強化費控除分	0.7円	組合独自の控除	0.7円
⑥ 組合手数料	1.2%	差引乳代金×率	1.2%
⑦ 出荷総乳量		1, 274, 411kg	
⑧ 搾乳戸数			43戸

◎ 乳質・乳成分ペナルティー発生状況 (Bランク以下) 3月分 (戸数)

	乳脂肪分	無脂乳固形分	乳蛋白質	細菌数	体細胞数	合 計
上 旬	0	0	0	0	6	6
中 旬	1	1	0	0	5	7
下 旬	1	0	0	0	8	9
合 計	2	1	0	0	19	22

※ ペナルティー発生戸数 12戸

◎ 乳質・乳代精算の状況 3月出荷分乳代精算の結果は下記のとおりです。

	乳量 (トン)	乳質奨励 (千円)	奨励単価 (円/kg)	乳質減額 (千円)	減額単価 (円/kg)	差引金額 (千円)	差引単価 (円/kg)
東海計	28,771	69,466	2.41	8,875	0.31	60,591	2.11
長野計	7,420	18,587	2.50	2,960	0.40	15,628	2.11
南略	1,274	3,033	2.38	394	0.31	2,639	2.07

◎ 月間良質乳ランキング分布表

良質乳総合得点	戸 数	乳 量
300点~200点	37	1, 207, 510kg
200点~100点	4	47, 981kg
100点以下	2	18, 920kg

【月間良質乳生産者上位10名 (3月分)】

- ・ 倉科 茂男 300点
- ・ 中島 博幸 300点
- ・ 丸山 勝広 300点
- ・ 岩岡 俊義 300点
- ・ (有)北アルプス牧場 300点
- ・ 平林 雄二 300点
- ・ 下村 好美 300点
- ・ 下田 正二 290点
- ・ 萬谷 宏 290点
- ・ 小林 秀昭 290点
- ・ 小野寺土菜 290点
- ・ 林 力三 290点

同点のため12名



◎配合飼料等価格の改訂について

4月1日より下記のとおり価格が改訂になりました。  
 第4四半期（1～3月）分の価格差補てん金の交付があります。  
 単価決定は令和4年4月下旬の予定です。

**配合・哺育・育成飼料価格表**

令和4年4月1日

商 品	荷 姿	旧供給価格（円）	改定幅（円）	新供給価格（円）
南 信 7 5	1 t	68,300	4,200	72,500
信 州 N	1 t	68,300		72,500
ニューコールト`ラッシュ	1 t	72,500		76,700
バ ラ ン ス メ イ ト	1 t	83,100		87,300
森 永 ト ` ラ イ フ レ ッ シ ュ	1 t	86,450		90,650
なんしん TMバルキー	1 t	100,200		104,400
アミノバランス 30	1 t	122,450		126,650
森永育成 20 プラス	1 t	97,250		101,450
信 州 N	20 kg	1,366	84	1,450
森 永 ト ` ラ イ フ レ ッ シ ュ	20 kg	1,822		1,906
アミノバランス 30	20 kg	2,489		2,573
森永育成 20 プラス	20 kg	1,991		2,075
ニューヤング`ミックス	20 kg	2,164		2,248
森永もりもりスターター	20 kg	2,752		2,836
森永わくわくミルク	20 kg	10,605	1,260	11,865
すまいるミルク	20 kg	10,284	1,460	11,744
カーフトップ EX	20 kg	11,383	0	11,383
カーフトップ` EX ブラック	20 kg	11,483		11,483

- ・森永わくわくミルク価格対策 200 円込
- ・カーフトップ` EX・EX ブラック 4 月のみ据置（価格対策 200 円込）

◎久しぶりの南酪青年部活動！！



令和4年3月18日、関東甲信越酪農青年女性会議の酪農発表大会がWEB開催され、南信酪農3F会議室に集まり視聴しました。

WEBながら、5名の気持ちのこもった酪農経営発表、意見・体験発表を聴く事が出来ました。

新年度は、皆で顔を合わせての活動が増えるよう願っています。